

山行報告書

山行管理部

公開山行 鳴川峠から千光寺 7月23日

CL 森野、SL 森本・島袋 参加15(一般2名)

瓢箪山駅 9:10 ~ 商店街 ~ 大池公園 9:25 ~ 鳴川峠 9:55
~ 千光寺 12:05(昼食) 13:00 ~ 元山口駅[近鉄] 13:55 解散

好天气で風もなく、気温や湿度が高く、日差しが強い中を川沿いに鳴川谷コース、赤トンネルの側を通り、水車小屋跡から鳴川峠へ。そして千光寺へと、ゆっくり走行ペースで、こまめに休憩と水分補給をして、熱中症に気をつけての山行でした。

各自、暑さ対策に関しては、うちわ及び首にタオル、又はクールネックリング、ミニ扇風機等使用されていました。色々なグッズがあるものだと、感心しました。個人差はあるが、暑い中歩くことは、気力・体力も消耗すると思います。

皆様の御協力により、体調不良の声も聞かれず、予定通りの時間で無事に山行できて感謝です。お疲れ様でした。有難うございました。

一般参加の一人が、入会されました。

(島袋 記)

夏山特別山行(鳳凰三山) 7月27日(木) ~ 7月30日(日)

CL 高桑 参加5名

27日(木) 晴れ JR 森之宮駅発 9:00 車⇒16:00 青木鉦泉着(泊)

28日(金) 晴れ 5:10 青木鉦泉発⇒7:45 南精進ヶ滝⇒9:55 白糸ノ滝
⇒11:00 五色ノ滝⇒12:20 鳳凰小屋着

29日(土) 晴れ 4:45 鳳凰小屋発⇒6:00 地藏岳⇒8:40 観音岳⇒9:40 薬師岳
15:00 青木鉦泉着 車⇒16:00 ホテルルートイン(泊)

30日(日) 晴れ ホテルルートイン発 8:00 車⇒14:00 京橋駅着 解散

山行1日目 ドンドコ沢の登山口からスタート、間もなくジグザグの急登。鳳凰小屋迄1,300m標高を上げる。半分寝起きの身体には

かなり辛い。多汗をかいて滝に出合い滝ミストを浴びる。気温16度、大阪はおそらく35度越えかな? と思い暫し休息。南精進ヶ滝、白糸ノ滝、五色ノ滝など滝に癒され、渡渉の度、沢水で汗を拭う。樹林帯で直射日光が遮られていることが幸い。夏山にピッタリの沢沿いの登山道を7時間かけ鳳凰小屋に到着。溢れる自然水で冷やした600円スーパードライ350^ミ缶で乾杯。倍払っても価



値ありの美味さ。南アルプス天然水よりやっぱりビール。

山行2日目 一山目の地蔵岳を目指す。砂礫の斜面に足を取られ、三歩歩いて一歩後退？する感覚。この行程は朝イチからキツイ。背中に朝日を感じ、何気に振り返ると富士山。歓声。スリング、カラビナ装着し地蔵岳オベリスクの岩を登ると北岳が手に届くように近い。お地蔵さんに手を合わせ二山目の観音岳へ。観音岳山頂からは歩いてきた稜線、次に目差す薬師岳、甲斐駒ヶ岳、白峰三山、富士山、八ヶ岳など360度絶景を味わう。

三山目の薬師岳迄の稜線歩きは眺望と高山植物を楽しむ。

ここより中道ルートにて下山。ひたすら眺めない樹林帯を下る。途中、御座石の大岩が動かないよう枝で支えるメンバーも。二日分の疲れが足にくる。2日間の行程を日帰りで周回する登山者にもドンドン抜かれていく。最後に怪我をしないよう集中、集中と自分に言い聞かせ、下りに5時間かけ無事下山。

恵まれた天候、鳳凰三山、メンバーの皆さまおつかれ山でした。

(出口 記)

土曜山行 金剛山丸滝谷コース 8月5日 CL 滝川 SL 乾、新熊 参加6名
葛城登山口 9:00→林道入り口 9:10→沢入口 9:25→(丸滝谷)→上の丸滝 11:05→六道の辻 12:00→大日岳 12:10→山頂広場 12:20(昼食) 13:00→(千早本道)→金剛登山口 14:00

コースタイム5時間10分(内休憩1時間30分) 距離7.3km 登り785m/下り660m

盛夏の中の低山歩きでしたが、前半は涼を感じながら沢を登り、後半は強い日差しを避けて樹林帯の中を下りました。

丸滝谷は小さな滝が次から次にと現れますが、できるだけ沢沿いに歩き、滝も高巻かず直登するようにしました。水量もあり、シャワーライミングも楽しみました。谷の最後に現れる「上の丸滝」はかなりの高度で危険でしたが、しっかりロープが張られていたので登ることができました。そして谷の最後のガレ場の急登は足場が悪く大変でした。ようやく中尾の背に出た時には、汗だくになっていました。

六道の辻からは一般の登山道を気持ちよく歩き、金剛山の山頂広場で昼食を取りました。当日は土曜日でしたが、暑さのせいもあり、思ったより人は少なかったです。

下りはタカハタ道の予定でしたが、登りで思っていた以上に体力と筋力を消耗したため、千早本道で下ることとなりました。ご参加いただいた皆さん、お疲れ様でした。

(滝川 記)

有志山行 乗鞍岳 8月6日(日)～7日(月) CL 願野・SL 飯塚 他1名
8/6JR 京都 6:57→ひかり→名古屋 8:00→特急しなの→10:05 松本→タクシー→
新島々 10:50→バス→11:53 乗鞍高原センター12:00→バス→12:15 三本滝 BS 着
三本滝 BS (昼食) 12:40…13:10 三本滝…15:18 冷泉小屋…15:50 位が原山荘着
8/7 5:40 位が原山荘…位が原…8:00 肩の小屋…8:50 朝日岳…9:15 剣が峰 9:55…
10:30 肩の小屋…11:00 富士見岳…11:35 畳平
畳平 BT12:05→バス→12:55 乗鞍高原観光センター (温泉入浴) 14:13→バス→
15:16 新島々 15:25→松本電鉄→15:55JR 松本→名古屋→京都 (解散)

8/6 迷走する台風6号は気になるものの決行しました。乗鞍岳は岐阜の高山方面から上ると夜行バスを使えば日帰り可能な登山です。今年は高山からのスカイラインが通行止めで、上高地の新島々から乗鞍エコーラインを使って乗鞍岳に行くしかありません。昨年乗鞍岳行きを考えていたので どうしたものかと考えていたところ偶然にもテレビで、位が原山荘のオーナーがガイドをしている「百名山」を見ました。このコースで登ろうと企画し実現に至りました。

出発点の三本滝は3つの河川が1つになる直前にあり、3つの滝を横並びで見ることが出来る場所で観光名所になっています。歩くのは乗鞍登山道で肩の小屋まではほぼ樹林帯。ところどころでエコーラインとぶつかります。そのエコーラインに子熊が1頭座り続けて何かを食べていると下山中の人から聞き、これまでの熊鈴の他にホイッスルを吹き、恐る恐る歩きました。「今、熊が逃げて行った」と言う人に出会い少し安心したものの山小屋に着くまでは、やはり不安でいっぱいでした。山小屋の食事は鹿肉の鍋、しめはうどんが美味しかったです。

8/7 今日は乗鞍岳まで標高約700mの上り、途中の位が原は樹林帯の中を歩き、だんだん岩やガレ場が多くなり、標高を上げるにしたがってチングルマの群生、何処までもチングルマ・チングルマ。秋仕立てになったチングルマのヒゲに露がつき、写真を撮りまくりました。肩の小屋からは溶岩とコマクサの登山道に変わりました。乗鞍岳にこんなにコマクサがあると初めて知りました。ほぼ霧の中を歩いたのですが、要所要所で霧が風で飛ばされ、朝日岳・剣が峰の鳥居・大日岳・権現池・鶴ヶ池・魔王岳などが見られました。でも楽しみにしていた富士山・穂高・槍ヶ岳・御嶽山などの山々は、全く見えず、雷鳥の姿も是非見たいと探しましたが見られません。ただ乗鞍岳がこんなに高山植物の宝庫だったとは！

1泊2日で乗鞍岳をじっくりと楽しみました。

(願野 記)

